

中学校

- 主題名 いじめを許さない心（C 公正、公平、社会正義）
- 教材名 「卒業文集最後の二行」（『私たちの道徳』中学校）
- ねらい いじめられている子のつらさがわかり、誰に対しても公正に接し、差別や偏見のない社会の実現に努めようとする態度を育てる。
- 学習指導過程

	学習活動（主な発問と予想される生徒の反応）	具体的な指導・援助
導入 2分	1. 「あなたの身近にいじめはありますか（私たちの道徳P230）」を読む。	◇いじめについて考えることを方向付けます。
展開 43分	2. 教材「卒業文集最後の二行」を読む。 ◇生徒の表情を捉えながら読むことを心がけます。生徒の表情を捉えておくと、「読んでいる時に〇〇さんは、～な表情をしていたけれど、どんなことを思ったのかな」などと、生徒の思いを生かせる発問ができるようになります。	教師が範読する。
	3. この話での問題点について考える。 ○この話で問題と思うところはどこだろう？ ・相手のことを考えないで見た目で口汚くののしつたこと。 ・自分がカンニングしておきながら、仲間の尻馬に乗る発言をしたこと。	◇教材の問題場面に気づかせることで、問題解決的な学習にもなります。
	4. いじめられているT子の思いを考える。 ○これがずっと続いている時のT子はどんな気持ちでいるだろうか。 ・私は悪くないのに、どうしてそこまでみんなに言われなくてはならないの。 ・誰か助けて。 ・毎日がつらい。学校に行きたくない。 ・死にたくなる。	・T子のつらい気持ちへの理解を深める。 ☆補助発問 「一人ではなく集団でされた時、また、それが継続的になされた時、どんな気持ちになるだろう。」
	5. 主人公の何がいけなかったのかを考える。 ○主人公は、自分の行いを悔いているが、こうならないために、どの場面でどうすればよかったのだろうか。また、何がいけなかったのだろうか。ワークシートに書こう。	・自分の考えや思いを、ワークシートに記述させる。 ◇一人一人に確かな考えをもたせるために、書く活動を行います。

	<p>・見ただ目で判断しないで、相手のことをよく理解して接しなければいけなかった。</p> <p>・よく考えないで、仲間の発言につられているのではなく、相手の気持ちを考えて仲間にならなければいけなかった。</p> <p>6. いじめをしないために大切にしなければいけないことが何かを見つける。</p> <p>○書いた内容を交流しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手の気持ちをよく考えること。 ・見ただ目で判断しないこと。 ・よく考え、仲間につられて行動しないこと。 	<p>◇道徳的な態度（身構え）を育てるための発問です。T子の思いを十分に捉えおくことが必要です。</p> <p>◇自分の身に置き換えて考え、自分の立場を明確にしつつ学ぶことが大切です。</p> <p>◇教師は、生徒の発言に対して、頷くなどしながら、「傾聴する」ことを大切にします。</p> <p>◇教師がしっかりと聴くことが、生徒の安心感につながります。</p> <p>◇ねらいに関わる大切なことを板書でまとめ、その視点から自分の課題を見つけられるようにします。</p> <p>◇板書によって発言のリズムが崩れてしまわないよう気を付けます。</p> <p>◇板書の際、それぞれの発言を、ネームプレートを貼りながら、比較したり、分類したり、関連付けたりして、一人一人の考えを確かなものにしていきます。</p>
終末5分	<p>7. いじめをしないために、自分の課題を見つける。</p> <p>○日常生活で相手に接するとき、自分の課題は何だろう。自分を見つめて書こう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私は、すぐに友達につられて相手のことを非難してしまうことがあるから、もっと相手のことを考えて、つられないようにしたいし、友だちにも注意していきたい。 	<p>◇書く活動でじっくり自分の課題（自己）を見つめます。</p> <p>◇机間巡視の際、生徒の実態に応じて問いかけを行います。</p> <p>◇「これからどうしていきますか」と問いかけると、生徒は「正解」を探して書いてしまう可能性があります。それを避けるため、「これまで自分がしてきたこと」を見つめさせます。</p>
終末5分	<p>8. いじめをされそうになった時、仲間に助けてもらった喜びの事例を紹介する。</p>	<p>・いじめが起きる前に、何とかしないといけないことを押さえる。</p> <p>◇終末は、実践への意欲を高める大切な時間です。</p> <p>◇授業の当日などに慌てて話題を探しては、なかなか効果的な終末にはなりません。授業者だけでなく、例えば学年の教師が協力して材料集めをしておくなどの工夫が望まれます。</p> <p>◇私たちの道徳に掲載されているものを活用することも考えられます。</p>

<板書計画>

第〇〇回 道徳

卒業文集最後の二行

問題と思うところはどこ?

- ・相手のことを考えないで、見ただ目で口汚くのしったこと
- ・自分がカンニングしたのに、仲間の尻馬に乗る発言をしたこと。

ずっと続いている時の下子はどんな気持ち?

- ・私は悪くないのに、どうしてそこまでみんなに言われなくてはならないの。
- ・誰か助けて。
- ・毎日がつらい。学校に行きたくない。

いじめをしないために

大切にしないといけないことは何か。

ネームプレート

- ・相手の気持ちをよく考えること。
- ・見ただ目で判断しないこと。
- ・よく考え、仲間につられて行動しないこと。

日常生活で相手に接するとき、
自分の課題は何だろうか。

- ◇発問を書いておくと、生徒が何について書くのか、確認しながら書くことができます。
- ◇学習がねらいから逸れないための工夫の一つです。

- ◇導入時の生徒の発言を板書しておくことで、授業の後半で自己を振り返りやすくします。

- ◇いじめ問題を扱った教材を学習するときは、主人公の思いだけでなく、被害者の思いにも注目し、考えを深めていくことが大切です。